



「こらぼ」とは、コラボレーションの略です。家庭、学校、地域社会、事業者の協働による教育の相乗効果を期待するという願いが込められています。

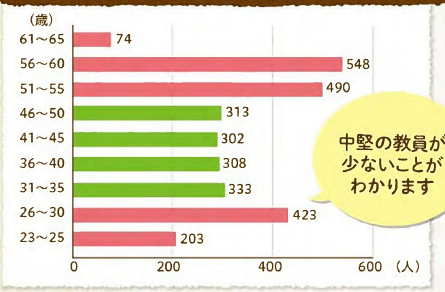
発行／岡山市教育委員会事務局教育企画総務課 〒700-8544岡山市北区大供一丁目1-1 Tel 086-803-1571 Fax 086-234-4141 E-mail korabo@city.okayama.lg.jp

この広報紙は、岡山市公立保育園・認定こども園、岡山市立幼稚園・小・中・高等学校の保護者等にお配りするほか、各区役所・支所・地域センター・公民館・図書館等の市の関係施設に置いてあります。また、HPでもご覧いただけます。

こんな先生がいいな!



市立小中学校の教員の年齢構成 ※管理職・再任用を含む



教育委員会事務局調べ(H29)

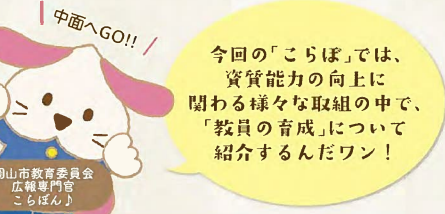
みなさんはどんな先生が印象に残っているでしょうか? 「一緒に遊んでいいなあ」「悪いことをしてすくしかられたなあ」などいろいろな先生の姿が思い浮かぶことでしょうか。しかし、時代が変わっても「子どものために全力で取り組む先生」の姿は、深く心に刻まれるのではないのでしょうか。

先生の今は:
では、その先生(教員)を取り巻く状況はどのような様子でしょうか?

グローバル化、情報化の進展など社会状況の急激な変化に伴い、教員を取り巻く環境は大きく変わってきています。多忙感や仕事の複雑化といった問題が取りあげられている中、教員の年齢構成にも大きな偏りがあります。左のグラフにあるように、岡山市では30〜40歳代の中堅層が少ないことが分かります。これは全国的な傾向

でもありません。大量退職、大量採用の時期を迎えている岡山市では、今後10年間で約4割が入れ替わり、ベテラン教員の割合が減少します。そのため、これまでベテラン教員が培ってきた「思い」や「指導技術」といった子どもたちの未来に関わる「宝物」をどのようにして若い教員に伝えていくのが急務となつていきます。

教職員に求める3つの資質能力



岡山市の目指す教職員像
岡山市では「岡山つ子育成条例」を制定し、「市民協働による自立に向かって成長する子どもの育成」を目指しています。その推進に当たって学校園において子どもと関わる全ての教職員に求める資質能力として、「情熱」「力量」「人間力」の3つを掲げています。これらの資質能力をバランスよく兼ね備えるとともに、生涯を通じて自らを磨き、学び続ける教職員であることが求められます。

でもありません。大量退職、大量採用の時期を迎えている岡山市では、今後10年間で約4割が入れ替わり、ベテラン教員の割合が減少します。そのため、これまでベテラン教員が培ってきた「思い」や「指導技術」といった子どもたちの未来に関わる「宝物」をどのようにして若い教員に伝えていくのが急務となつていきます。

また、学校園においても日常の業務を通じて必要な知識や技能などを計画的・組織的に高める取組も行っています。

教員については、大学での養成と採用後の育成の一体化を推進するために、キャリアアステージに即して身に付けるべき資質能力を明確にした「岡山市教員等育成指標」を作成し、研修体系を整えて育成することを進めています。

岡山市の取組
では、どのようにして教職員の育成を進めているのでしょうか。

岡山市では、教育研究研修センターを中心に、教職員のキャリアアステージに応じて、3つの資質能力をバランスよく身に付けることができるプログラムを作成するとともに、研修内容も岡山市の教育課題を柱に学校園や教職員のニーズに合ったものにする一方で、より効果的・実践的な教職員研修を実施しています。

※岡山市市民協働による自立する子どもの育成を推進する条例

子どもたちのために

高め合い、学び続ける先生たち!

先輩教職員による校内自主研修会の開催

若手教職員の実践的指導力の向上

日々の実践の中で

一人一人の実践的指導力の向上には、校外での研修だけでなく、校内での日常業務を通して行う指導(OJT)を大切にしています。特に若手にとって「分からないこと」「不安」「悩み」といったものへの対応には同僚に支えられるOJTが重要な役割を占めています。

芳泉小学校では、全教職員で若手を育てることを目的に「若葉会」と名付けた校内自主研修会を定期的に行っています。講師役はベテランの教職員、若手からのニーズや教育課題を踏まえて計画され、「学級づくり」「国語の教材研究」といった日々の子どもたちの学びに直結したテーマで研修し、指導力の向上を目指しています。

今回の「陸上運動(体育)」の研修では、「安全の確保」をテーマに、その対策だけでなく、子どもたちの自主性を伸ばしたり、責任感を育てたりする場づくりや子どもたち同士の関わり方などの指導のポイントも伝えられました。

研修の最大の目的はベテラン教職員の持っている「宝もの」を若手に伝えることです。講師を担当する教職員にとっても自分の専門分野を見直すきっかけになりました。互いに学び合うことで学びの輪が広がったことで、職場の同僚性が高まり、「チーム学校」として組織全体のレベルアップにもつながっています。



就学前と小学校のつながりをスムーズに

就学前・小学校連携研修講座
小学校に入學した1年生が「環境の変化を不安に感じ、なかなか学校生活に慣れることができない」という状況が時折見られます。
岡山市では就学前と小学校との連携を自覚して就学前小学校連携研修講座を開講しています。年間2回の計画で中学校区を中心に互いの授業や保育の様子を参観し、協議を深めることを通じて、接続期の子どもの育を理解し、指導方法の工夫や改善に向けた指導力の向上を図っています。

小学校での関わり方について改めて考える良い機会となったという感想が多く聞かれました。
岡山市では、全々の子どもを同じ就学前の子どもとして教育・保育を行う立場から、この取組を公立・私立の認定こども園保育園、幼保連携型認定こども園保育園、学習指導要領、幼稚園教育要領などの改訂に伴い、今後ますます連携の重要性が高まるとしています。



岡山市の子どもたちのために、今日も先生たちは互いに高め合い、学び続けています。

情熱、力量、人間力につながる研修を紹介します。

ドキドキ・ワクワクの授業展開で、理科好きの子どもを育てます!



経験年数の違いを生かして

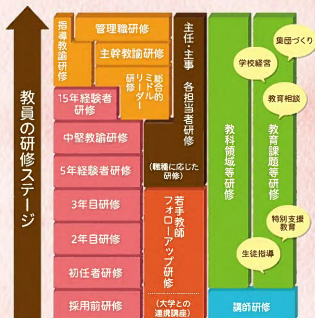
若手教職員を対象として、各教科の教材研究の仕方や基本的な指導の在り方について学んだり、授業づくりをすすめる上で課題を解決したりすることを目的に、若手教師フォローアップ研修講座を開催しています。受講者からのニーズが多いため、主として授業づくりがテーマでした。
講師から「子どもが自ら学ぶことができるような「めあて」と「まね」を中心とした授業展開のシナリオを考える」という興味を高めるための「手間の工夫が大切であること」などのアドバイスがありました。実際に空気鉄球を例に、子どもたちの興味関心を引く「導入」や「事象の提示の具体的なアイデアの紹介」もありました。子どもたちの好奇心を育て、主体的に活動できる授業に結びつくことを肌で感じることができました。
受講者からは「導入で具体物を見せたり、めあてを示したりするタイミングの大切さが分かった」「子どもの知的好奇心をうまく引き出すためには、「自分もやってみよう」と思えるような目と手間をかけることが大切だ」といった感想が聞かれました。
理科好きの子どもを育てるには、教職員が理科の面白さを知ることが重要です。小学校の理科の授業で大切な子どもたちの「ドキドキワクワク」子どもたちをワクワクと引き込むための新たな授業展開につながるヒントが満載でした。

授業づくりにも生かすために

若手教師フォローアップ研修講座(小学校理科)

子どもたちのために「走り続ける」教職員に栄養補給! 全力サポートします!

学校や教職員を研修や研究を通して支援するさまざまな取組を行っている「岡山市教育研究研修センター」は、平成29年度は129講座、477の研修が実施されています。中島所長に教職員の育成について話を聞きました。



研修とは?
子どもたちに「学ぶ楽しさ」を伝える役目を持つ教職員にとっては、毎日学び続ける必要があります。毎日学び続ける中で時には「あんなに立ち止まらなかつた」という思いもあふれます。マンツーマンに例えたとすると、研修は「給水ポイント」のような存在だと考えています。
例えば、すぐれた授業や指導方法を録音資料(DVD)にして伝えた。若手教職員は、先輩教職員を組ませた研修で、学校の先生を超えて教職員同士がつながる仕組みを取り入れた。学校内で先輩教職員が若手(通称「メンター」となる)の役割を担い、日々の校内の教職員同士がつながる仕組みづくりを研究したりするのは、教育研究研修センターの役割の一つです。
「岡山の教育を伝える組織的に若手教職員を育成することができるよう」に支援しています。

「チーム学校」

「二」最近、子どもたちのために全力投球する教職員同士のコミュニケーションの時間が増えています。コミュニケーションの時間が増えることで、何気ない会話から、センターの研修のことなども多岐にわたる。研修の場でも、教職員同士のワーキンググループや情報交換の場を大切にしています。また、学校園でも、研修会や「若葉会」分研修会など、若手育成にもつながるコミュニケーションが円滑に図れる場の設定などにチャレンジしています。



岡山市教育研究研修センター所長 中島 昭子 (なかのあきこ)

合同研修で初任者の悩みを共有し、経験者の情熱と自覚をさらに高めます!



大元小学校 西田 真穂 教諭 (にしだまほ)

さらに、パワーアップ!

初任者の悩みを一緒に考える中で、少したけ自分の教員としての成長を実感することができました。自分の役割も自覚することができました。今回の研修で同期の先生や初任者からたくさんのエネルギーをもらい、自分が初任者だった頃の情熱を思い出します。これからは、いろいろな手立を考えて実践し、取り組みたいと思います。

初任者・5年経験者研修講座
岡山市では経験年数や職種に応じた研修だけでなく、異なったキャリアステージ同士での合同研修を実施しています。
今回実施したのは初任者と5年経験者の合同研修(混合)の6つのグループで、前半は5年経験者が後半経験年数の具体的な取組の様子を紹介し、後半は初任者から「困る」の悩みについて話題を提供しグループで協議しました。
初任者の授業中に子どもたちがもつ積極性に驚かされた中には、「の相談に、5年経験者から、毎朝授業の前フランクに声を出したり、発言しやすい雰囲気作りをしたりするなどの具体的なアドバイスがありました。
初任者からは、「将来はじりや子どもへの対応の参考にしたい」という意見が聞かれました。
5年経験者からは、「子どもへの情熱と悩みを共有し、意見交換やアドバイスすることで、先輩教職員としての自覚を持つことも、更に教職への熱意を強くすることができました。
今回の合同研修を通じての思いや経験を共有する場が、両者の教員としての幅も広がりました。

学校組織マネジメントの視点を身に付け、ミドルリーダーとしての力量を向上!



大元小学校 西田 真穂 教諭 (にしだまほ)

広い視野を持つために

子どもたちの未来のために
サッカーの世界の話でしたが、教育の現場と重なる部分も多く、共感できる部分もありました。選手一人一人にストーリーがあるように、生徒一人一人にもストーリーがあります。生徒の20年後、30年後をイメージしながら、私にできることは何かを考えた。プロ集団トップの木村さんのお話をうかがい、プロとしての自覚を改めて持てました。

中堅教諭研修講座
事業者の協働の質として、学校組織マネジメントの視点を身に付け、校内でのミドルリーダーとしての力量を高めるために企業経営者を抱いての研修を行っています。教員は教育の「ただけ」を考えればよいというのではなく、幅広い人間として、組織人としての技量を向上させていくのが求められます。
今回の研修講座では、株式会社フジアンノ岡山スポーツクラブ代表取締役木村正明氏に「同じ志をもちたい」という思いを込めて、岡山を好きになってもらうという究極の志を持ちながら、組織運営や企業経営の視点から子どもたちを応援する話や、選手の感動的なエピソードを交えて語りかけていただきました。
受講者からは「子どもたちに響かせるという発想は、日々の教育現場にも必要とされている」とあり、聞かなくてもいい未来も含めて、広い視野を持つことで教育活動に携わってほしいという意見を聞かれました。
改めて子どもへの接し方や、教育の心口としての心構えについても考えを深げられました。



福山中学校 杉井 恭子 教諭 (すぎのまこと)



平成28年度
実施から

岡山市では単独で採用試験を実施しています



岡山市が目指す「自立に向かって成長する子どもの育成」を推進する優秀な人材を確保するために、岡山県と共同で実施していた採用試験を、平成28年度実施から岡山市単独で行っています。岡山市の教育の魅力を知ってもらい、「岡山市の『先生』になりたい!」と思ってもらえるように広報活動にも力を入れています。

岡山市採用の 特色はこちら

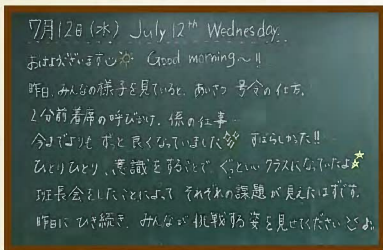
1 「小中連携推進」という受験区分を設定

採用後、小学校と中学校の両方の校種を経験するなかで、岡山市が大切にしている「中学校区を単位とした学校園一貫教育～岡山型一貫教育～」の推進の中心となることを期待しています。

2 試験内容に「集団活動」を導入

グループによる課題解決の活動を通じて、「コミュニケーション能力」や「社会性、協調性」、「主体性」といった観点で総合的に評価します。力量だけでなく、情熱や人間力を兼ね備えたバランスの良い人材の確保に努めています。

黒板にメッセージ



子どもへのアンテナを高くして
岡山市単独採用の一期生ということで、不安もありましたが、同僚に支えられ、元氣いっぱいの子どもたちに囲まれて充実した毎日(を過)しています。初めての学級づくりは苦勞もありますが、相手のことを考えることができるクラス(「自分自身で動けるクラス」)になってほしいと願い日々いろいろなことに取り組んでいます。

4月に赴任してから毎日黒板にメッセージを書くようにしています。子どもたちが帰った教室で、一日を振り返り、書くことを決めます。書く内容は様々ですが、子どもたちの小さな成長に気付かせてくれるこの時間を大切にしたいと思っています。何気ない一言ですが、子どもたちと「つながる」手段として大切にしています。そのためにはこれからも毎日アンテナを高く張り巡らせて、子どもたちの変化に気付ける教員でありたいと思っています。

生まれ育った岡山市で、子どもたちと共に
昨年の4月下旬の説明会に参加した頃は、岡山市の採用試験を受けるといって水島教諭に、岡山市の採用試験を受けようと思った経緯や採用されたからの半年間を振り返った感想などを聞いたんだワン!

子どもへのアンテナを高くして
岡山市単独採用の一期生ということで、不安もありましたが、同僚に支えられ、元氣いっぱいの子どもたちに囲まれて充実した毎日(を過)しています。初めての学級づくりは苦勞もありますが、相手のことを考えることができるクラス(「自分自身で動けるクラス」)になってほしいと願い日々いろいろなことに取り組んでいます。



全国中学校体育大会(夏季大会)が開催されます!

～スポーツに関わることを通して大会を一緒に盛り上げよう～

来年開催される全国中学校体育大会(夏季大会)16競技のうち、2競技が岡山市で開催されます。

陸上競技 平成30年 8月18日～21日 シティライトスタジアム

剣道 平成30年 8月22日～24日 岡山市総合文化体育館

この大会は部活動の大会で、全国各地の予選を突破した中学生が参加します。岡山市で開催する2種目には、選手、監督、引率者、役員、保護者など約1万人が集まります。もちろん岡山市からもたくさん参加します。

スポーツには実際に「する(参加する)」だけでなく、様々な関わり方があります。トップレベルの大会やプロスポーツの観戦といった「観る」スポーツ、指導者やボランティアとしての「支える(育てる)」スポーツはよく耳にするようになりました。

また、疑問に感じたことを「調べる」あるいは、新たなことを「知る」といったことも関わり方の一つと言えます。スポーツが好き・嫌い、得意・不得意といったことに関わらず、スポーツを通じて様々な人とつながり豊かな生活を実現することは素敵なことです。今回の全国大会でも、多くの中学生が「する」「観る」「支える」という立場で大会を盛り上げます。

みなさんも何かの形で関わってみませんか?今後、情報発信をしていきますので、ご注目ください!



こらぼVOL.9に 寄せられた ご意見・ご感想を ご紹介!

前回テーマ

子どもを育てる地域の人々

子どもの成長には、いろいろな人が関わった方が視野が広がるので、グスタチャーナーなどの取組はとても素敵だなと思います。自分の住む地域のことや人を身近に感じることが大切なことだと思います。

娘が通っている小学校では、放課後子ども教室で母さんたちの音楽サークルの演奏会があります。いろんな楽器での演奏や、実際に子どもたちに楽器を体験させてくれるので、毎回娘はとても楽しみに参加しています。音楽に親しみいっきがけになっています。

子どもにとって、家庭と学校だけでなく地域との関わり大切さは私も日頃から感じています。様々な年代や職業の人との交流を通して、自分の住んでいる地域のことや、愛着が持てたり、安心に繋がったりすると思います。特にシルバー世代の方々の交流は、普段祖父祖母に会えない我が子にとってはよいひと時になっていると思います。

僕は家庭科の「お裁縫」が苦手です。でも友達のお母さんがボランティアで来てくれて、エプロンやリュックを作るを手伝ってくれました。秋にはそのリュックを持って修学旅行に行くのが楽しみです。僕のお母さんも「今は仕事ばかりだけど、定年後はボランティアとして学校にお手伝いしたいかな。」と言っています。

医療や介護だけでなく、教育にも他職種連携がなされています。素晴らしいと思いました。シームレスな教育のために、このような取り組み(特に学生ボランティアの学方向上サポート)が続くとよいと思います。我が子も将来学生ボランティアに参加してほしいと感じました。

ご意見・ご感想をお聞かせください

今回の特集に興味を持ってお読みいただいた記事やその理由などを今後取り上げて欲しいテーマと共にお寄せください。抽選で図書カード1,000円分を5名の方にプレゼントします。

郵便番号、住所、氏名、年齢(または学年)を明記の上、下記の宛先へご応募ください。

【はがき・封書】
〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1-1
岡山市教育委員会事務局 教育企画総務課 行
【FAX】 086-234-4141
【Eメール】 korabo@city.okayama.lg.jp



みなさんの意見を
聞いてみたいワン!
待ってるよ～

図書カード

応募
締切

平成30年
1月31日(火) 当日
消印有効

※お寄せいただいた個人情報は、業務目的以外には使用しません。
※当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

